

新高退通信 No.139

HP : shin-koutai.jimdo.com mail : shin.koutai@gmail.com



発行所／新潟県高等学校
員組合／新潟市中央区川岸町
2-11/T E L (265)4151/
F A X (231)1036/1部10円
(購読料は組合費に包含)

発行人 吉田 裕史

2021年6月1日
号外

新潟県高等学校 退職者の会
事務局 〒951-8133 新潟市中央区川岸町2-11-4 (高校会館内)
退職者の会専用電話 025-265-1110

政府の犯罪的な無策により、新型コロナウイルスの全国拡大状況が止まりません。

森友・加計の安倍腐敗政権を引き継いだ菅無能政権にはさつさと退陣してもらう必要があります。また、野党は広範

な国民の意思を実現でき

るよう共闘することが必要です。

秋までに衆院選が実

施されますが、地方で自民党議員に投票すると、東京で安倍や菅が総理

になるという簡単な仕組みが分からぬ国民がいる中では、当面、当選させていいけない候補者を議

会から駆逐する戦術が必要なのでしょうか。

本部の活動については、支部の意向も確認しましたが、新型コロナウイルス拡大を鑑み、今年度も昨年度と同様、通信発行を除いて活動は全て中止、延期、または課題毎に事務局の個別対応とします。

2021年度の議案審議についても、議案を会員に対しても配付した上で、原案の承認は支部に送付する「報告用紙」を集約することとします。

結果は支部に対しては直ちに、会員に対しては9月発行の通信で報告します。

中止、延期または個別対応とする活動は、(1)役員会、県委員会、定期大会・懇親会、(2)旅行、(3)版画教室、(4)懇親会、(5)日退教・北プロの会議です。事務局会議は回数削減、対外連携活動については用務毎に事務局で個別対応とします。

〔7〕支部課題については、どの支部の悩みも共通で、①会員数の漸減と新規加入者の減少、②役員選出が困難になっている、③支部活動への参加者が少なく参加者が固定している、などです。

部活動の結果を記載しますので、参考にしてください。

〔1〕「支部だより」については、7支部で発行されました。
〔2〕支部総会は全ての支部で中止されました。

以下に、コロナウイルスに配慮して行われたであろう昨年度の支

会部活動の結果を記載しますので、参考にしてください。

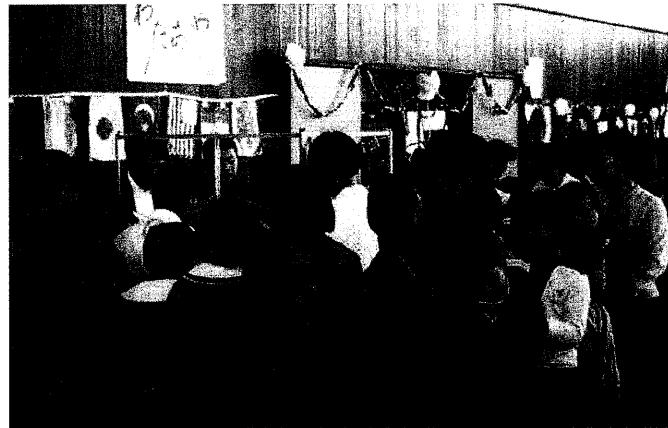
〔1〕「支部だより」については、7支部で発行されました。
〔2〕支部総会は全ての支部で中止されました。

これらは若年層の行動変容と意識変化にも原因がありますが、会員の高齢化と現職組合の組織率低下が主な原因となっていると考えられ、悩ましいところです。

■分校・定時制時代(リレートーク/8)

「第一の故郷、関川分校」

久保野清和(04) 上越支部



文化祭で大人気の綿あめの販売

関川分校は昼間の定時制で、生徒数は約110名。教員は分校主任以下6名に非常勤講師が2名。担当教科は社会科の5科目と英語Aの計6科目で、持ち時数は18時間。

しかし、いくら社会科教師とは言え、歴史専攻の身にとつて



文化祭初日終了後の食堂係との反省会

が来てくれた。ところが、翌年には小・中学校も同様の食堂を開く事になり、又、前の様に誰も来なくなると心配し、食堂の他に、何か目玉になる商品はないかと考えていた時、ある生徒が、近所の綿に話しかけてきた。当時はまだ宿直があり、(翌年廃止)宿直の夜などは生徒が5~6人集まって残っているだけだった。『本当に大変な所に来てしました』。1968年4月、新採用で希望に燃えて、村上高校関川分校に赴任した時の第一印象だった。

台だけの住居跡が点在し痛々しかった。又、校舎も体育館が流され、2階建ての4教室棟と、天井付近まで泥水に浸かった教務室と家庭科室が入る平屋棟がわずかに残っているだけだった。『本当に大変な所に来てました』。1968年4月、新採用で希望に燃えて、村上高校関川分校に赴任した時の第一印象だった。

「しばつたあ」「しまつたあ」と糸魚川駅から乗り換えた時間を含めて5時間余。次第に不安で心細くなっていた矢先に、途中の新発田駅での下越訛りの駅員の連呼が、本当にこんな遠くに来て、「しまつた! 失敗した」と、言つてゐる様に耳に響いた。さらに坂町駅で米坂線に乗り換え越後下関駅に降り立つて、暫し立ちすくんでしまつた。前年に、不明者を含め31名も犠牲になつた例の8・28羽越大水害での爪あとが生きしく残り、復興工事用のダンプカーが轟音を立て疾走していた。出迎えの分校主任に案内された下宿先の周辺も、櫛の歯が欠けた様に土

などは全く違つた教科に思え、英語Aも含めて授業準備に悪戦苦闘の日々だった。しかも2年生の担任も受け持たされた。それでも生徒は意外と明るくて人懐こく気軽に話しかけてきた。当時はまだ宿

直があり、(翌年廃止)宿直の夜などは生徒が5~6人集まって残っているだけだった。『本当に大変な所に来てました』。1968年4月、新採用で希望に燃えて、村上高校関川分校に赴任した時の第一印象だった。

ある時、文化祭が話題となり、村内では毎年11月2~3日に一斉に小・中・分校で開催され、分校には「余り人が来ない」生徒の一人が嘆いた。「よし、何とかお客様を呼び分校を宣伝しようぜ!」。生徒会の係でもあり、早速、生徒会の役員達と相談して食堂を開く事となつた。特に新卒で一緒に赴任した家庭科の先生を押し倒して協力を仰いだ。献立は、うどんとカレーとお汁粉。これが美味しくて大好評、多くの人々

などは全く違つた教科に思え、英語Aも含めて授業準備に悪戦苦闘の日々だった。しかも2年生の担任も受け持たされた。それでも生徒は意外と明るくて人懐こく気軽に話しかけてきた。当時はまだ宿直があり、(翌年廃止)宿直の夜などは生徒が5~6人集まって残っているだけだった。『本当に大変な所に来てました』。1968年4月、新採用で希望に燃えて、村上高校関川分校に赴任した時の第一印象だった。

ある時、文化祭が話題となり、機材を借りる事にした。これが大当たりで文化祭は大盛況。綿あめを目当てに子供達が、親や祖父母を連れて来校して大行列が出来た。「初めて校舎に入った」とか。上関城址の発掘調査の研究発表や民具展等、展示内容の質の高さに驚き、生徒の力作に感心した人々が多く、定期的に定時制に対する評価が一段と高まつた。打ち上げも盛り上がり、皆でフォークダンスを踊るまで踊つていたら、施錠係の用務員さんに叱られてしまつた。

翌年、小学校の校長先生が余りにも綿あめが

好評だったので、露天商に借りてあるから駄目だ」と断られたと、残念がっていた。以来、もう一つ考案した鉄板のイカ焼きと共に分校の2大看板商品となつた。その後異動で関川を離れたが、1976年10月関川分校の閉校記念式典に招かれた折に、綿あめ道具が残つていたので、返しに伺うと、「お前にくれてやる。邪魔なら捨てる」と言われ、喜んで頂いて帰つて来た。以後、異動の先々の学校の文化祭や、町内会の祭りに使い、今でも人気を博している。

一方、部活では、陸上部を持たされた。劣悪な環境の中、素人ながらも延べ11人を、毎年、東京の旧国立競技場での全国大会に出場させ、8人も入賞させた事が、さやかな誇りである。赴任当初は早々に異動しようと考えていたが、すっかり分校や関川村が気に入り、2回も卒業生を送り出した。今でも時々同級会や陸上部有志との旅行に招待され、親交が続いている。まさに第二の故郷である。

行つたら、「分校の久保野に貸してあるから駄目だ」と断られたと、残念がっていた。以来、もう一つ考案した鉄板のイカ焼きと共に分校の2大看板商品となつた。その後異動で関川を離れたが、1976年10月関川分校の閉校記念式典に招かれた折に、綿あめ道具が残つていたので、返しに伺うと、「お前にくれてやる。邪魔なら捨てる」と言われ、喜んで頂いて帰つて来た。以後、異動の先々の学校の文化祭や、町内会の祭りに使い、今でも人気を博している。

一方、部活では、陸上部を持たされた。劣悪な環境の中、素人ながらも延べ11人を、毎年、東京の旧国立競技場での全国大会に出場させ、8人も入賞させた事が、さやかな誇りである。赴任当初は早々に異動しようと考えていたが、すっかり分校や関川村が気に入り、2回も卒業生を送り出した。今でも時々同級会や陸上部有志との旅行に招待され、親交が続いている。まさに第二の故郷である。

松淵昂さん (日退教・事務局次長)からのエッセイ



4. 怨恨と処分(流刑と財産没収)

戊辰戦争は、徳川幕府の江戸城明渡しで終わっています。では、何故、函館戦争まで続いたのでしょうか。それは、特に長州の會津に対する怨恨があつたからです。

第1次第2次長州征伐で、朝廷に弓を引いた長州は賊軍にされました。京都守護職の任にあつた松平容保に恨みを持ち続け、それが

仙台に向いた奥羽鎮撫総督府参謀世良修藏の言動に見られます。

いくら、奥羽の家老たちが新政府軍に恭順を示し嘆願書を出しても、會津を討つべしという態度を変えなかつたため、仙台藩士に殺害され、火ぶたが切られました。

越後でも、河井継之助が岩村精一郎(土佐)に、恭順をしても全く受け入れられず北越戦争になりました。

薩長政権は、伊達岩出山99%、會津87%、長岡67%、伊達仙台藩55%、南部盛岡35%減俸させ、更に岩出山藩(伊達邦直)は600

名が札幌北の当別へ、仙台藩(伊達邦成)北海道の有珠へ800名(伊達の名前を残し、現伊達市)、會津は青森の下北へ17000名を流刑にしました。この藩士たちは斗南藩を作りましたが、その冬に寒さ、栄養失調、病などで3000名が命を落としました。

2015年、斗南會津会は「先人斗南に生きる」という記念誌を出版しました。個人名も多数記録していますが、軍人、教員、政治家が多いのに驚きます。士官学校や師範学校は授業料免除などの特典があつたためです。

一方、薩長は奥羽越から28万石を取り、個人では西郷隆盛が2000石、大村益次郎が1500石、板垣退助が1000石、山県有朋は600石を懐にしました。弘前、秋田も政府軍に協力したという事で各2万石を与えられましたが、期待した新政府への要職には就くことはありませんでした。

長州の怨恨を持つ体質は1910年の大逆事件にも表れます。幸徳秋水ら12名が処刑された事件です。その中に大石誠之助という和教基法改悪、道徳教科化、秘密保護法、戦争法、共謀罪など

府軍の先鋒を務めたのが紀州新宮藩主水野忠幹です。長州藩は敗れますが、恨みを持ち続け、第2次桂太郎(長州)内閣の時、大逆事件で、新宮の大石誠之助を処刑しました。しかし、2018年、新宮市は大石誠之助の無実を認め、名譽市民にしました。

それにしても、長州出身の総理をみると、国民にとつては犯罪者のようです。

簡単に長州出身の首相の実績をみましょう。

■伊藤博文内閣(1894~5) 日清戦争、朝鮮侵略、台湾の植民地化

■山県有朋内閣(1900) 治安警察法(のちに治安維持法)

■桂太郎内閣(1910) 大逆事件死刑12名、無期懲役8名など

■岸信介内閣(1960) 60年安保、警官を導入し強行採決、女子学生殺害

■安倍晋三内閣(2020まで) 本土並み沖縄返還と嘘を言い、今でも基地を押し付け

■佐藤榮作内閣(1972) 本土並み沖縄返還と嘘を言い、今でも

秋水ら12名が処刑された事件です。その中に大石誠之助という和教基法改悪、道徳教科化、秘密保護法、戦争法、共謀罪など

2021新高教の課題

新高教執行委員長
吉田 裕史



この1年半、新型肺炎感染症が猛威を振るい、学校現場も今までにない対応を迫られました。新高教結成70周年記念式典は中止し、本部定期大会は書面議決としまし

今年に入り変異型の感染急拡大を招き、3度目の緊急事態宣言が出され、そして5月には延長されています。検査態勢の確立とワクチン接種が課題であるにもかかわらず、政府は移動の自粛や休業を要請するだけで、医療体制の崩壊を招いています。オリンピック開催が国民の命よりも優先できるはずがありません。

40人学級の教室で密を避けることは無理です。これまで財務省が抵抗してきた「小学校35人以下学級」が40年ぶりに法改正で実現しました。

等教育学校」は県
てきました。「中

卷之三

校しかなく、北陸地区では新潟県のみとなっています。

生徒減に伴う志願者減で定員割
れが生じてゐるとして昨年の6月
県議会で義論になつたのが津南中

県議会で話題になつたのが海面図等と佐渡中等の募集停止案です。地元への説明を経て一部修正して県議会提案したことから総務文教委員会審議が紛糾し募集停止案は撤回されました。

私も長年議会傍聴を続けてきましたが、
したが、「県教委の進め方」を批
判する県議の怒号は凄まじいもの

でした。方針を撤回した県教委は「中等教育学校のあり方検討委員会」を設置し、地元首長や校長からも意見を聴取しながら4回の議論があり、3月にその報告書が出されました。（L5に資料）

報告書には地域の小中学校への影響として、中等教育学校の進学実績が既存の中学校にも刺激を与えた。学力向上の意識が高まつたことと自校の魅力づくり、特色ある学校づくりを推進したとの肯定的意見がある一方、生徒数の減少によ

り高等学校の小規模化が最も重要

で深刻な課題となつてゐることが記されていります。具体的なデータ

必勝を果たしていきたいと思いま
す。

新高教第25期

執行委員長	吉田裕史	離籍	遠藤丞	書記長	書記次長	執行委員 (支部書記長)	会計監査
薄木裕之	佐々木尚子	荻間貴志	新潟北 長岡商業	佐藤正成	浅川智之	三条東	新潟向陽 新潟西
佐渡相川分校	羽茂	高田安塚分校	新潟北 長岡商業	巻総合	高見砂織	桂山祐子	小川貴史

県立中等教育学校のあり方検討委員会報告

2002年に村上中等教育学校を設置してから18年が経過し、少子化に伴う志願者数の減少など本県教育を取り巻く環境が大きく変化していることから、県教委は標記検討委員会を設置して4回の議論を行い、21年3月に公表した。

1. これまでの経過

1998年に「新潟県公立中高一貫教育検討委員会」を設置し、1999年「公立学校に可能な限り早期に導入することが適当」と報告され、通学範囲に1校程度設置、設置形態は中等教育学校または併設型として以下の7校を設置してきた。

設置年度	旧通学区域	学 校
2002	新発田・村上	村上中等教育学校
	新津・五泉	阿賀黎明中学校・高等学校
2003	長岡・柏崎	柏崎翔洋中等教育学校
2005	三条・西蒲	燕中等教育学校
2006	魚沼	津南中等教育学校
2007	上越	直江津中等教育学校
2008	佐渡	佐渡中等教育学校
2009	新潟	新潟市立高志中等教育学校

注：全国の公立中等教育学校設置状況（2020年度33校）

7校：新潟、6校：東京、3校：愛媛、2校：北海道、茨城、群馬、神奈川

1校：宮城、埼玉、兵庫、広島、岡山、山口、徳島、福岡、宮崎

注：募集学級数は4学級が最多で19校、3学級は6校（新潟2校）、2学級は6校（新潟4校）、1学級は2校（新潟1校）

2. 地域の小中学校への影響、課題

中等教育学校の進学実績が既存の中学校にも刺激を与え学力向上の意識が高まったことと自校の魅力づくり、特色ある学校づくりを推進したとの肯定的意見があった。しかし、生徒数の減少により高等学校の小規模化が最も重要で深刻な課題となっていることが明記され、1～3学級募集の学校が2021年度には42校、47%になっていること、地域の「伝統校」の小規模校化から学校の活力の低下や大学進学をめざす生徒が分散するデメリットが大きくなっていると課題を指摘している。地域の中学校へ及ぼす影響も記載され、遠隔授業についても学校間調整や授業者への負担、評価等課題があることが述べられている。

3. 今後の進め方

21年度から22年度に地元自治体との意見交換を継続して行くこととしている。将来的なあり方の選択肢として3つの実施形態を特徴も含めて示している。

①中等教育学校存続、②中等教育学校と地域の伝統校を統合し併設型中高一貫教育校、③市町村立中学校との連携型中高一貫教育校、

そして県教委として23年度に再編の公表を行うこととしている。



4月に実施された十日町市議選に新高退会員の滝沢さんが初挑戦で初当選した。24人中の14番目という好成績だった。本人から支援に対する御礼の言葉が届いたので以下に紹介する。



十日町市議選で会員の
滝沢貞親さん当選す。

4月25日投開票の十日町市議選にて、皆さまからの大きな支援により、千票を超える得票で当選できました。ありがとうございます。市議を目指しての様々な活動を通して、多くの方々から「貞親ガンバレ、応援しているよ!」と声をかけていただき、沢山の元気と勇気を頂きました。それらの声に応えるべく、これから議員活動を進めます。特に教育環境整備（生徒・教員）について頑張りま

■菅首相による日本学術会議新会員6名の任命拒否に対する「抗議」を郵送（11月13日） ■柏崎市長選投開票（11月15日）近藤候補敗北 ■「敵基地攻撃論」学習・講演会（11月21日） ■通信No.138発行（12月1日） ■12・8不戦を誓う市民の集い（12月6日） ■東電・柏崎刈羽原発差止め訴訟・第31回口頭弁論（1月25日） ■2・11にいがた平和集会（2月11日） ■県退職者連合幹事会（2月25日） ■北陸ブロック2020年度代表者会（2月25日）中止、後に総会も中止に ■中野晃一オンライン講演会（2月27日） ■3月1日発行「新高退文書交付」発送（3月3日） ■教育をよくする県民会議幹事会（3月23日） ■退職者激励会（3月31日） ■会計監査（4月14日） ■役員推薦委員会（4月20日）委員長に小林達朗さんを決定 ■新高教・新高定期協議（4月21日） ■十日町市議選投開票（4月25日）滝沢貞親さん 1089票、14位で初当選

「コロナ蔓延」を理由にするしかないが、記事に厚みも深みも出しができず申し訳ないと思う。

「分校・定時制時代」の8回目は上越支部の久保野さん、地域も時期も、7回目に寄稿していただいた本間さんと重なる。分校ではおきまりの担当教科数の多さと準備の苦労、分校ならではの生徒と一緒にになっての奮闘が伝わってくる。

【2021新高教の課題】は、県教委が少子化に伴つてその場しごぎで取り繕ってきた統廃合や学科改変の再々編でアタフタしているように見える。鳴り物入りで設置された中等教育学校の行く末もどうなるか。

ご冥福を
お祈りします

(括弧内は現職退職年度)

渡辺馨
2020年

渡辺馨一郎

戸川
良弘

さん
（新潟支部） 3 · 13
（柏崎支部） 10 · 9
さん
（93） 87

高木	正夫	さん	(88)
(三条	・	加茂支部	10
澤海	義輝	さん	(95)
(魚沼支部)		(長岡支部)	10
田村	忠夫	さん	(90)
(上越支部)		(上越支部)	11
内田	正一	さん	(04)
(新潟支部)		(佐渡支部)	12
森山	和子	さん	(91)
(魚沼支部)		(上越支部)	12
宗像	清	さん	(89)
(新津支部)		(新潟支部)	13
長岡	弘治	さん	(95)
(新潟支部)		(新潟支部)	14
秋山	正晴	さん	(01)
(新潟支部)		(新潟支部)	15
村山	陽	さん	(94)
(佐渡支部)		(上越支部)	16
小笠原利也		さん	(97)
(上越支部)		(上越支部)	17
中村	直	さん	(90)
(上越支部)		(長岡支部)	18
後藤	晋	さん	(04)
(上越支部)		(魚沼支部)	19
小嶋秀太郎		さん	(95)
(長岡支部)		(長岡支部)	20
2021年			

- (3) 会員の連帯と親睦、交流を深める方策を絶えず検討しながら、新高退の活動に取り組みます。
- (4) 財政運営改善の取り組みを進めるとともに、会費収入に見合った活動を目指します。

3. 諸要求の実現・課題解決の取り組み

3-1 年金・医療制度などの福祉政策

75歳以上の医療費負担1割を堅持させるとともに、高齢者のいのちを守る運動を中心に、すべての高齢者が安心して暮らせる生活の実現に向けて関係諸団体と連携して取り組みます。

3-2 脱原発・クリーンエネルギー社会の実現

- (1) 再稼働した原発も含め、全ての原発の稼働を停止・廃炉にし、新增設を行わず自然エネルギー政策を基本とした社会の実現を目指して取り組みます。
- (2) 東電・柏崎刈羽原発差止め訴訟に参加し、情宣活動等の支援を行います。
- (3) 花角知事宛の「原発再稼働の是非を県民が決める」署名、東電柏崎刈羽原発の「設置許可取り消しを求める」署名に取り組みます。

3-3 平和と民主主義を守る取り組み

- (1) 違憲の戦争法や「共謀罪」法の実効化に反対し、廃止に向けた諸行動に取り組みます。
- (2) 「3000万署名」を生かす取り組みとともに、改憲策動阻止に取り組みます。
- (3) 教育に対する不当な介入を許さず、47教育基本法の理念を生かす取り組みを行います。

4. 組織の拡大・強化に向けた取り組み

- (1) 要求実現に向け、新高教・日退教とともに組織の拡大・強化に取り組みます。
- (2) 現退一致により、組織をあげて新会員の加入に取り組みます。また、再任用終了者を中心に過年度退職者加入に取り組みます。
- (3) 組織全体で親睦と交流を深め、退会者を出さない活動を強化します。
- (4) 支部活動に対しては、年度当初（会員数割）と年度末（活動実績）に補助を行います。
- (5) ジェンダー平等に取り組みます。

5. 学習・親睦・交流の取り組み

新型コロナウイルス感染症の状況から、2020年度と同様に「全ての企画は中止または延期」とします。

6. 情宣活動

『新高退通信』を年3回（6・9・12月）発行しま

す。3月は『通信』同様の配付方法で文書配付を行います。引き続き読みやすく、親しみのある紙面づくりに努めます。

支部における配付時の定率補助金については、昨年度と同様に今年度も全額支給とします。

7. 支部活動の強化と充実

- (1) 「支部だより」の交換や近接支部との交流を行い、他支部とともに活動の活性化に努めます。
- (2) 加入の取り組みについては、支部全体で組織的に取り組みます。また、現職支部と連携して取り組みます。
- (3) 地域退職者連合活動に積極的に参加します。

8. 国政選挙・自治体選挙

基本的には新高教の方針に基づき現退一致で取り組みます。

候補者に社民党候補がいる場合には、新高教推薦候補の他、社民党候補も推薦対象とします。

第2号議案

2021年度予算（案）

L6ページに掲載しています。

第3号議案

役員候補の承認（案）

役員改選に当たり、役員推薦委員会から推薦された候補者の承認を求めます。（ただし、新高教枠の2名の役員は報告事項です）

役職	留/新任	氏名	所属
会長	留任	木村 昭雄	新潟支部
副会長	留任	阿部美智子	新潟地区(新潟)
〃	新任	菊田 正喜	下越地区(新発田・村上)
〃	新任	兼古 和江	中越地区(県央)
〃	新任	中村 政道	上越地区(柏崎)
〃	留任	吉田 裕史	新高教
事務局長	留任	石野 公久	新潟支部
事務局次長	留任	内山 正知	新津支部
〃	留任	高橋 清貴	新潟支部
〃	留任	遠藤 丞	新高教
会計監査	留任	平野 伸一	新津支部
〃	留任	舟山 幹夫	新潟支部

その他の報告

支部名の変更

（旧）三条・加茂支部→（新）県央支部

センターの活動、柏崎市長選、十日町市議選（会員・滝沢貞親さん）等で連携して活動しました。

2-3 日退教等との連携

日退教の闘争カンパを例年同様に行いました。しかし、コロナ禍でも安倍・菅政権の暴挙が続く沖縄・辺野古新基地建設反対の取組みをはじめとして、日退教北陸ブロック、県退職者連合等の運動は新型コロナウイルス感染症の対応で、ほとんどが中止となりました。

2-4 『新高退通信』の発行

- ア. No.136(6/1)、No.137(9/1)、No.138(12/1) の3回と、新高退文書配付(3/1)を発行しました。
- イ. リレートーク「分校・定時制時代」は今号の掲載で8回となりました。
- ウ. 「新会員からのたより」、「退職後の10年の小さな自分史」などの寄稿が通信発行を支えています。今後も協力をお願いします。

2-5 支部活動

- (1) コロナ禍で支部総会は全支部で中止されました。「支部だより」は7支部で発行され、5支部の9同好会で活動が行われました。
- (2) コロナ禍でも支部役員の協力により支部運営が維持されています。しかし、会員減、新加入減で支部運営が、さらに厳しくなっています。

3. 会計決算報告

L4ページに掲載しています。

4. 会計所見

L5ページに掲載しています。

5. 会計監査報告

L6ページに掲載しています。

第1号議案

2021年度活動方針

1. 情勢

グローバル資本主義による雇用や地域社会の崩壊を放置し、貧困と格差、富の偏在をさせて安倍政権（政治）は自壊しました。

憚譲的に権力を得た菅政権は、高齢者のいのちを奪い全世代の医療負担をさらに強める75歳以上の患者2割負担を課すなど、安倍政権より一層弱者を切り捨てる政策、それが「自助、共助、公助、そして絆・・・」。最早、政府の責任放棄で、棄民政策です。

安倍政権のコロナ感染症対策は、アベノマスクの配布に象徴されるように失敗しました。菅政権も「GO TO トラベル」を止めない経済優先で失敗しています。大阪を中心とした関西圏は、自宅死もでる医療崩壊が現実になっています。

貧困・格差は新自由主義経済でコロナ禍以前からであるが、コロナ感染症で、その度合いを強めています。それは弱者（女性・非正規労働者・高齢者など）に極めて深刻です。菅政権は、貧困・格差にも「まずは自分でやってみて（自助）」と言うだけで、基本的人権や生存権を顧みていません。

ID不正入室・工事未了・核セキュリティなどの問題を起こした東電など、電力業界の無責任を放置し、原子力規制委員会も巻き込んで40年超老朽原発を含めた原発の再稼働を進め、さらには漁業者を初めとする国民の反対を押し切り、トリチウム以外の核種も含む福島原発の汚染水を「処理水」と偽って海洋放出の暴挙。

沖縄・辺野古新基地建設では、コロナ禍にもかかわらず現地を諦めさせるように埋立を強行しています。さらには、沖縄戦戦死者の人骨が残っている南部の土砂を埋立に投入しようとする暴挙も。これが菅自公政権の実態です。

社会的弱者を徹底的に弾圧する政策は、学術会議の任命拒否問題とも通底しています。「会議のあり方」にすりかえる政権と自民党の目論見を許してはなりません。抵抗する人々を徹底的に弾圧する政治です。

このような「維新」が補完する菅自公政権に代わる、少なくとも①コロナ危機を真剣に克服し、②貧困・格差を是正し、③ジェンダー平等など基本的人権を保障し、④再生可能エネルギーを拡大し、原発廃止に向けたエネルギー政策に転換する、ことなどを主要な政策とする対抗（野党）勢力をつくり出さなければなりません。

2. 基本方針

- (1) 退職者が安心して暮らせる年金・医療・介護などの福祉政策、税制や講師採用、現職の定年延長、再任用などの諸要求の実現に取り組みます。
- (2) 新高教およびその他の県内外の民主諸団体と連携して、平和憲法・民主教育擁護、辺野古新基地建設阻止・沖縄米軍基地撤去、安倍政権下で制定された戦争法・「共謀罪」法・高プロ制度・「カジノ法」などの諸悪法・制度撤廃、「自助・共助・公助」の菅自公政権からの政権交代の運動に取り組みます。

2021年度 新潟県高等学校退職者の会 議案

2020年度経過報告

1. 活動経過
2. 活動の概要
3. 会計決算報告
4. 会計所見
5. 会計監査報告

議案

- | | |
|-------|-------------|
| 第1号議案 | 2021年度活動方針案 |
| 第2号議案 | 2021年度予算案 |
| 第3号議案 | 役員候補の承認 |

その他の報告

- 支部名の変更

2020年度経過報告

1. 活動経過

(1) 諸活動・サポートGなど

- 04.01 第1回事務局会議
- 06.01 通信No.136（2020年度議案）発行
- 06.03 2020年度初・支部活動補助金送金
- 07.08 2020年度議案賛否の結果送付
- 09.01 通信No.137発行
- 10.06 「現退交流会の開催について」送付
- 10.13 柏崎市長選・近藤正道さん（新高教顧問弁護士）の推薦決定〔事務局会議（12）〕
期間中、現地でチラシ配り等
- 10.13 菅首相による日本学術会議新会員6名の任命拒否に「抗議」送付
- 11.17 「新潟県いじめ等の対策に関する条例（案）」に対するパブリックコメントに対応
- 12.01 通信No.138発行
- 01.18 十日町市議選（滝沢貞親立候補予定）で新退教に推薦要請
- 02.24 「加入のお願い」郵送
- 03.01 「新高退文書配付」発行
- 03.31 第25回事務局会議
- 03.31 2019 & 2020年度退職者激励会

(2) 新高教・日退教・退職者連合・新退教他

- 06.07 日退教組織代表者会議・総会（書面）
- 06.17 北陸ブロック第44回総会（書面）
- 06.24 譲憲フォーラムにいがた「総会記念講演会」
(講師・古賀茂明)
- 07.28 県退職者連合第28回定期大会（幹事=代議員）
- 08.01 新高教第90回定期大会（書面）

2. 活動の概要

2-1 組織の現状

- (1) 会員数は2019年度末の673人から、2020年度末には630人となりました。2020年度に亡くなられた方は22人でした。
- (2) 2019年度末、組合員の定年退職者は54人、再任用終了者が3人など71人が現職を退きました。新加入者は9人でした。また、2020年度から教育職の再任用期間は4年となりました。

- 08.07 第43回希望奨学生選考委員会
希望奨学生は2021年度で終了予定
- 09.11 憲法学習会「COP25@新潟」（講師・伊与田昌慶〈気候ネットワーク主任研究員〉）
- 09.18 「ポストコロナに向けて政治を変えよう！未来を選ぼう！」市民と野党の大集会
- 10.03 新潟水俣病共闘会議結成50年事業
「ユージン・スミスとともに見た水俣～」
(講師・アイリーン・美緒子・スミス)
- 10.07 教育をよくする県民会議総会
- 10.21 國際反戦デー
- 11.15 柏崎市長選投票開票（近藤候補敗北）
- 11.21 「敵基地攻撃論」学習・講演会
(講師・半田滋〈獨協・法政大学講師〉)
- 12.06 12・8不戦を誓う市民の集い
「戦争とメディア」
(講師・南彰〈朝日新聞記者〉)
- 02.11 2・11にいがた平和集会
(講師・北野隆一〈朝日新聞編集委員〉)
- 02.25 北陸ブロック2020年度代表者会（書面）
- 02.27 講演会「選挙で政権交代を」
(講師・中野晃一〈上智大学教授〉)

(3) 支部総会

全支部で中止、書面承認

※詳細は通信No.136～139の
「『活動日誌』・点描」を参照

- (3) 新型コロナウイルス感染症に対応し、定期大会は中止し、代わりに議案は支部による文書承認としました。定期大会後の懇親会をはじめ、本部（サポートG）企画の栃木旅行、寺泊de懇親会、版画教室も中止としました。

2-2 新高教との連携

教育をよくする県民会議、「戦争」発言の燕市教育長問題、東電柏崎刈羽原発差止め訴訟、県平和